団体の概要 (NGO/NPO用)

団体名 NPO レインボー

所在地	〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-22-5 マミール吉祥寺 201 TEL 0422-23-2649 FAX 0422-23-0607 E-mail: mailto:secretary@rainbow.gr.jp		
ホームページ	http://www.rainbow.gr.jp/		
設立年月	平成9年 9月 *認証年月日(法人団体のみ)平成12年 6月 30日		
代表者	長田 紀子	担当者	向達壮吉
組織	スタッフ 15 名 (内専従 1 名) 個人会員 15 名 法人会員 0 名 その他会員(賛助会員等) 名		
設立の経緯	地球温暖化防止京都会議と地球温暖化問題に対する関心を高めることを目的として任意団体として設立。地球温暖化防止条約に基づく第3回締結国会議が開催されるのに先立って、東京で市民レベルの論議を高めようと多くの人たちが集まって「レインボーパレード」が開催された。来場者 6,000人 後援 環境庁通商産業省 外務省 文部省 運輸省 科学技術庁 東京都以後、総合学習向けセミナー・ワークショップなどを開催。		
団体の目的	本会は、これまで地球環境問題の改善に関わっていた人だけでなく、地球環境問題の改善に関心を持って いなかった方々も気軽に楽しく参加できるパレード、フェスティバル、セミナー等の企画を提案、実行し、 地球環境問題に関心・知識および当事者意識を持つ仲間を増やし、地球環境問題を改善していくことを 目的とする。		
団体の活動プロフィール	現在の主な活動内 ・ 地域の木材で紙をつくる「紙造くん」 ・ 国内林業振興のため、国産木材利用促進の呼びかけ ・ 中野コミュニティ・カフェ運営協力 ・ 環境保護の社会的気運を高めるための各種イベントの制作 ・ ライフスタイル見直しフォーラム グリーンコンシューマーワークショップ ・ 中野区 NPO 連絡会世話人 ・ 中野区リサイクルプラザ運営委員 ・ 中野区まちづくり支援・情報コーナー運営委員 ・ 間伐材封筒の普及活動 ・ グリーン・リバー・アート コーディネイト 他		

活動事業費(平成15年度)5百万 円

政策のテーマ

グリーンコンシューマー教育の推進（主として企業）

政策の分野

- ・ 環境教育
- ・ 企業のCSR推進

政策の手段

グリーンコンシューマーリーダー育成
参加型eラーニングの作成と普及

団体名：NPO レインボー

担当者名：向達壮吉

政策の目的

環境と経済の好循環ビジョンでは、2025年には「物・サービスを買うときは環境への影響を考えてから選択している人」が80%以上になることを目指します。と、述べられ 今後、学校・地域・職場などにおいてグリーンコンシューマーを増やす環境教育がますます求められる。そこで、具体的なグリーンコンシューマー育成プログラムを提言します

背景および現状の問題点

企業の環境教育の遅れと自然学習の課題

企業内での環境教育を進めるには大きな壁があります。コスト（時間）、講師、自社の環境経営や環境マーケティングに直結するか、効果測定（評価）などです。「持続可能な開発と教育の10年」が来年からスタートしますが、基本である自然体験学習を行っても都会の生活に戻るとすぐに忘れてしまう。短時間で、楽しく、効果が上がり、測定できるワークショップや参加型のeラーニングが求められています。またファシリテーターが不足しています

政策の概要

- ・ ファシリテーターの育成：

グリーンコンシューマーを1億人育成するには、ファシリテーターを数万人養成しなければならない。つまり学校の先生、地域の学習リーダー、企業の環境教育担当者などである。

主なターゲットを当面企業とする

- ・ 対象はエコ商品販売の企業から：

企業人は約半分の4千万人～5千万人であり教育のインフラは整っている。また、エコ商品開発も近年は盛んになってきている。さらに、CSRの推進を行うムードである。

エコ商品を販売するなら社員自らがエコ商品を買うグリーンコンシューマーになるべきであろう。また、開発する人がグリーンコンシューマーなら継続してより質の高いエコ商品が開発される。

- ・ 「根っこのスイッチをON」する参加型学習やeラーニングの開発

短時間で、参加人数を問わない、楽しく、参加型で効果の測定できるワークショップやeラーニングメニューを開発する

- ・ 企業内での環境教育を進めるには大きな壁があります。コスト（時間）、講師、自社の環境経営や環境マーケティングに直結するか、効果測定（評価）などです。今回提案している「グリーンコンシューマーになるワークショップ」は、企業内や大学・地域などですでに実績があり、短時間（1時間半から2時間）で人数制限はありません。講師養成も可能です。しかも環境マーケティングに直結しています。エコレベルチェックで時系列の効果測定も可能です。

- ・ これらのWS事例を元に参加体験型のeラーニングシステムを開発する。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）

実際のワークショップで検証実験を行う：

今年のライフスタイル見直しフォーラム・日本環境教育フォーラム清里ミーティング・エコプロダクツ展にて「エコ商品コンテスト&グリーンコンシューマーになるワークショップ」を行い効果を実際に多くの方に検証いただく。また、改良意見を取り入れる。

ファシリテーターリーダーのML開設とHPの開設

ファシリテーター育成やコンテンツ作成のためのML及びオープンに意見をいただけるようHPを開設する。エコロジシンフォニーを予定 <http://www.ecology.or.jp/>

参加した方の感想文：慶應義塾大学理工学部1年生

今日は楽しいワークショップを開催していただき、どうもありがとうございました。いままで、自分としては環境に気を使っているつもりでしたが、私よりずっと意識が高い人が多くいること、まだまだできることがあることを強く感じました。特にエコ商品コンテストは自分とはまた違った着眼点を見つけられ面白かったです。また、普段気付かない身の回りのエコ商品に目をむけるいい機会となりました。準備の段階でもエコ商品が思った以上に見付かり、驚きました。今日みつけた商品を私達が率先して指示できるといいです。向達さんがお話しになられた「消費者の選択が企業を動かす」ということを心にとめ、グリーンコンシューマーとして社会に働きかけられる人になりたいと思います。ありがとうございました。

グリーンコンシューマーファシリテーター育成

- ・ グリーンコンシューマーワークショップコンテンツの整理・作成
ファシリテーターマニュアル作成： 企業用・地域リーダー用・先生用を開発
- ・ 全国のJCCCAセンターや環境学習センターなどで開催
- ・ 企業向けには経団連や経済同友会、グリーン購入ネットワーク、CSR推進団体等から行う

参加体験型eラーニングシステムの開発

今後の企業の環境教育は、全員対象とコスト等効率からほとんどがeラーニングになると思われるが、「根っこのスイッチをON」できる参加体験型のeラーニングはまだ存在していない。企業版を先ずつくり、順次地域向け、学校（子供）向けと開発する。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）

参加型Eラーニングの開発では、NEC及び関連ソフトハウスほかを予定（担当者：NEC勤務）
コンテンツ&企業への普及では(株)クleanと交渉予定（未定）

参考HP

エコ商品コンテスト&グリーンコンシューマーになるワークショップ

企画：NPOレインボー

エコ商品コンテスト、地球温暖化防止クイズ、エコレベルチェック、などを通してグリーンコンシューマーになりましょう！（身近なエコ商品かカタログを一つ持参してください。チャンピオンには記念品を贈呈！）<http://www.rainbow.gr.jp/grecon/>

政策の実施により期待される効果

環境と経済の好循環ビジョン～健やかで美しく豊かな環境先進国へ向けて～(平成16年5月中央環境審議会答申)を目指します。

その他・特記事項

担当者：向達壮吉プロフィール

NPO レインボー グリーンコンシューマーp j 担当理事

グリーンコンシューマー全国ネットワーク 東京都環境学習リーダー

勤務先： NEC 府中環境管理推進センター 環境エキスパート

環境教育・環境コミュニケーション他担当

s-koudatsu@bl.jp.nec.com

tel:042-333-1055